

プロのクラフトマン
& フィッターに
なるための強化書

PCM

Professional
Crafts-man
Magazine

飲む人に贈る
アフターラック



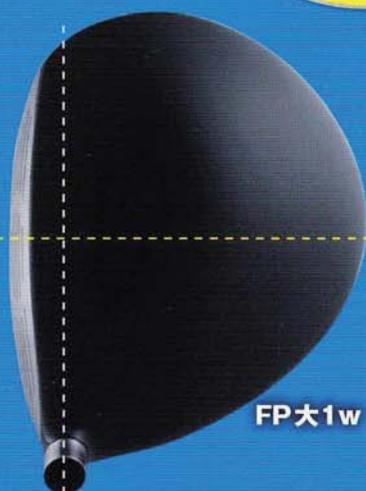
ハワイで人気の
アロハウォーター
日本上陸



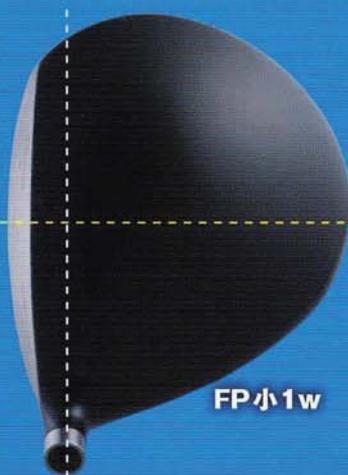
「ハワイ50番目の州」
記念版
アロハスタンダード



全国厳選ゴルフ工房オスス
クラブセッティング



FP大1w



FP小1w

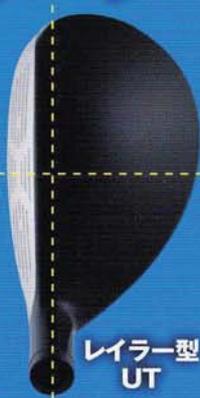


FP大#3

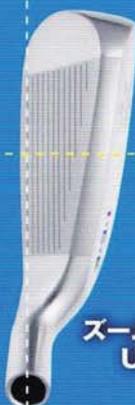


FP小#3

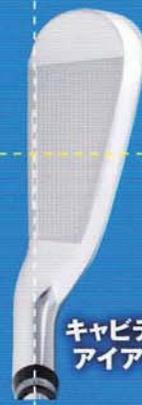
ゴルフのキーポイントは クラブセッティングだ!



レイラー型
UT



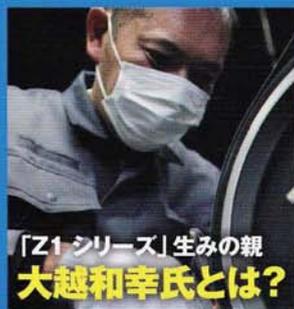
ズームi型
UT



キャビティ
アイアン



マッスルバック
アイアン



「Z1 シリーズ」生みの親
大越和幸氏とは?



40年の歳月が今、蘇る。
名匠、沼沢雄二氏の
理想のパター



クラフトマンの必需調整器は
ゴルフキャレーチ製が
オスス

「PCM」流パターフィッティング実践編

パターフィッティングの総集編でアドレスやストロークに合った
パタークラブ選びが可能になる。

カスタムヘッドパーツメーカー
ブランド名鑑

全 88 ブランド収録分らないブランドは
ブランド名鑑が解明する!



armsgain
MODEL-01
Designed by Yuji Numazawa
CUSTOMIZE-NI

40年の歳月が今、蘇る。 名匠、沼沢雄二の理想のパター

今日の本間ゴルフの基礎が構築された1970年代からクラブデザイナーとして活躍してきた沼沢雄二氏だが、当時の隆盛を知る人は今では少ないだろう。セベ・パロステレス、グレッグ・ノーマン、ジャンボ尾崎、倉本昌弘、その他数多くのトッププロにクラブを提供した実績は永遠のストーリーとして受け継がれている。40年の歳月が過ぎた現在、再び沼沢哲学が開花する。

パター製作を進めたのは
ジーン・サラゼンとカースチン・ソルハイム

沼沢氏は、13歳よりゴルフを始め、高校一年生の時に日本ジュニア選手権で優勝。プロゴルファーへの道を勧められるが、ゴルフというスポーツにおけるゴルフクラブに魅了されてクラブ製作の道を選ぶ。

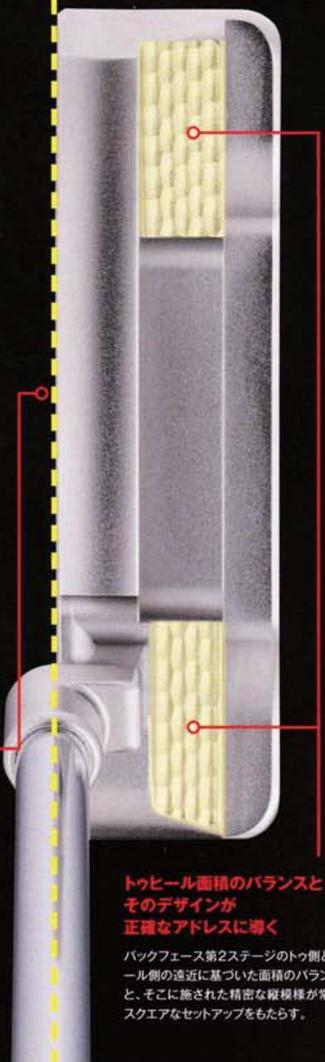
1970年、本間ゴルフクラブ製作所に入社し、瞬く間にクラブデザイン・製作において才能を発揮し、日本のプロゴルファーの使用率9割という偉業を達成した。そのクラブは国内にとどまらず海外から訪れるプロゴルファーの注目も集める。使用したプロの名前を挙げたら切りが無いほど多くのプロから絶大な信頼を獲得した。それが、今日まで続いている本間イズムの源流である。

1985年に独立し、以前から交流を深めていたアメリカのグランドスラム、故ジーン・サラゼンからの強い誘いもあり、世界のゴルフの研

究のために日本を離れる。その年のマスターズでサラゼンから紹介されたのがカースチン・ソルハイムなのだ。「君の作るウッドやアイアンは機能と美しさを兼ね備えているが、パターも作ったらどうか？」と話しかけられ、数時間に及びカースチンのパター哲学を徹底的に伝授された。

翌年、帰国して東京・麻布に「沼沢雄二ゴルフ工房」を開設。世界のプロゴルファーが集まるメッカとなり、政界、財界、アーティストなどハイソサエティな一般ゴルファーも訪れることになる。

1987年より2007年までプリヂストンスポーツとデザイン業務契約を締結してクラブ作りのノウハウを提供し、同社がクラブメーカーとして確固たるトップメーカーとして地位を獲得するに至る。また、2002年に日本橋三越本店の要望を受け、ゴルフサロン内にゴルフスタジオを開設。クラブフィッティングとカスタムメイドのクラブ販売によって初年度から終了する2007年までの期間に単独ブランドとして三越ゴルフサロ



シャフト軸線とトップラインを
一直線に見えるオフセットゼロ

ピン型はややオフセットでフェース角が付いているが、「アームスケイプ MODEL-01」はライン出しをスムーズにするためにオフセットゼロ設計を採用。

トゥヒール面積のバランスと
そのデザインが
正確なアドレスに導く

バックフェース第2ステージのトゥ側とヒール側の遠近に基づいた面積のバランスと、そこに施された精密な縦線様が常にスクエアなセットアップをもたらす。



ソール角2度が
最も安定する

シャフト軸線とトップラインを一直線につなぐ設計をすることでアドレス時のソール形状が影響してくることで、出た結論がソール角2度。

打球音と打感がバターの命。
100分の1ミリの精度を追求

どんなに京に入る形状のバターでも打球音と打感が悪ければ使ってもらえない。バターの命とも言われる打球音と打感を精密な計算のもと100分の1ミリの精度で実現した。

芯を喰う重心設計は
出球の安定を生む

ピン型はネック位置、ネック高さ、ライ角でシャフト軸線が決まる。ここにも遠近が入るためボール位置の微妙な加減で芯を喰うかどうかが決まる。

ン史上、年間売上最高記録を達成した。

2000年、ドイツ本国のダイムラー・ベンツ社から依頼があり、世界で初めて「ダイムラー・ベンツ スリーポイントド・スターマーク」の装飾を許可された「ベンツ・パター」を発表。

100分の1ミリ以下の精度で削り出されたバターは、1本290,000円で限定200本にもかかわらず、わずか1ヶ月で完売する。実はクラブデザイン・製作を開始して30年の歳月が経つが、沼沢氏が初めて手掛けたバターが「ベンツ・パター」だったのだ。

第二弾のバターは
カースチンに挑戦!

沼沢氏作、第二弾のバターがピン型と聞くと

「またか?」と思われる方もいるだろう。前述したように沼沢氏はカースチンから直々にピン型の哲学を教わっている。「ベンツ・パター」はマレット型だが、これはドイツ本国の要望があったためだ。

「カースチンと出会って30年の歳月が経って、ようやくカースチンに挑戦することができました。ピン型のデメリットを徹底的になくした道具としての機能性と造形美を追求しました」という。

「構えやすさ」、「ストロークのスムーズさ」、「芯を捉えるヘッド設計」、「耳から聞こえる、手から伝わる心地良い打球感」、一切の妥協を許さない沼沢哲学が凝縮された渾身のピン型バター「アームスケイプ MODEL-01」。道具としての機能性、所有感、ついにカースチンを超えたのか?



バターの設計はシャフト軸
線を中心として前後左右の
バランスが重要です。

沼沢雄二氏



ガンブルー(黒染め)仕様
¥88,000円+税

ニッケルコーティング仕様
¥88,000円+税

純金24kコーティング仕様
¥178,000円+税

ダイヤモンドライクカーボンコーティング仕様
¥178,000円+税

ドイツ本国のダイムラー・ベンツ社の依頼でデザイン・製作した世界で初めて「スリーポイントド・スターマーク」の装飾を許可された「ベンツ・パター」。